

生徒・保護者向け 図書館だより

Breeze

～図書館からの風～

令和8年3月2日

Vol. 11

文責 大田二中図書館司書

今年度も残りわずかとなり、3年生のみなさんの卒業も間近に迫りました。

卒業後、みなさんは新しいスタートラインに立ち、目標、希望、夢を抱いて、それぞれの道へと進んでいきます。中学校での経験を土台として、大きく羽ばたいてください。

1、2年生は勉強や部活により一層励みつつ、3年生からの伝統のバトンを全校生徒で繋ぎ、よりよい学校になるよう一丸となって取り組んでいきましょう！

3年生のあしあと ～図書館での記録～

3年間で100冊以上読んだ人

〇〇〇〇 さん	〇〇〇〇 さん
〇〇〇〇 さん	〇〇〇〇 さん
〇〇〇〇 さん	〇〇〇〇 さん
〇〇〇〇 さん	〇〇〇〇 さん
〇〇〇〇 さん	〇〇〇〇 さん

3年間の貸出合計冊数（2月末）

1490 冊

3年間で
1人あたり約

20 冊



みなさんが気に入って読んでいた本



書物の新しいページを1ページ、1ページ読むごとに、わたしはより豊かに、より強くなっていく

アントン・チャーホフ（ロシアの劇作家）



新しい出発点に立つ

人生は選択の連続です。より良い未来を目指し、自分の選択に責任をもって進んでいこう。



ナカスイ 海なし県の水産高校
村崎なぎこ 著 祥伝社



夢を抱いて
入学

普通でない人生を歩みたいと栃木県の水産高校に入学したさくら。入学早々なじめず転校を考えるほど落ち込むが、徐々に新生活に慣れ、個性豊かな仲間たちと「ご当地おいしい甲子園」を目指し、奮闘する。

7.5 グラムの奇跡
砥上裕将 著 講談社



見えるということは
この世で最も
ありふれた奇跡

新人視能訓練士の野宮は不器用で、失敗続きの毎日を送っている。様々な目の悩みを抱えた患者に真摯に向き合い成長していく。目は瞬間を捉え、未来を探すための器官。目の大切さ、人の温かさに触れる物語。

オルタネート
加藤シゲアキ 著 新潮社



SNS でつながる
高校生

高校生限定のSNS「オルタネート」に関わる3人の高校生を軸に物語が展開される。高校生の友人・家族関係や恋愛、未来に対する揺れ動く心情が描かれ、自分と重ねて共感でき、テンポよく読める。

さよならごはんを今夜も君と
汐見夏衛 著 幻冬舎



食べることを
大切に

500円で学生が食事できる、お夜食処あさひ。店主の朝日さんが作る愛情こもった食事に、悲しさや寂しさを抱えた学生たちの心が少しずつほぐれ、癒されていく。辛い時こそ食事が大切。食べることは生きること！

校長先生に購入していただいた本(毎月1冊・司書のセレクト本を寄贈していただいています)



アルプス席の母 早見和馬 著 小学館

甲子園を目指す息子を支える、母親の目線で描かれた物語。挫折と挑戦を繰り返し、夢に向かってひたむきに進む母と子の姿に、野球好きはもちろん、あまり興味がない人も胸が熱くなる物語。